



2026
9.2

最上町立向町小学校

「思いやり・やる気・元気」は、向町小学校の校訓です

2学期、さらに一步前へ...

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。学校に子どもたちの元気な声が戻ってきて、大変うれしく思います。



5月の学校だよりで、今年度の学校づくりの柱として「笑顔・挑戦・つながる」の3つをお伝えしました。子どもたちが、相手を思いやり笑顔で過ごすこと、失敗を恐れず「やってみよう」と挑戦すること、そして、困ったときには「助けて」「教えて」と言いながら、互いに支え合うことです。この3つを大切に、1学期の教育活動を行ってきました。

また、1学期の終業式では、夏休みを「頭・体・心に栄養を与える時間」にしてほしいと伝えました。読書をしたり、しっかり食事をしたり、家の仕事や地域の行事、好きなことなどに挑戦したりすることです。この夏休みに、一人一人がどんな経験をし、どんなことを感じ、何を学んだのか。夏休みの経験は、これからの学びや友達との関わりの中でも、きっと生きてくることと思います。

2学期は、その経験を生かして、さらに一步前へ進む学期です。一人一人が自分なりの目標をもち、小さな「できた」を積み重ねながら、自信をもって成長してほしいと思います。下にあるような姿1つ1つが、子どもたちのさらなる成長へとつながってほしいと思います。

- ★「どうして?」「なぜ?」と考え、自分から学ぶ
- ★ やってみたいことに挑戦する
- ★ 友達と考えたり、支え合ったりする

学校は、失敗しても大丈夫、分からないことがあっても大丈夫、困ったときには助けを求めても大丈夫と思える場所でありたいと考えています。子どもたちが安心して挑戦できる「居心地のよい学校」を、2学期もみんなでつくっていきます。

2学期の終わりに、子どもたちが「学校に来るのが楽しい!」と笑顔で言えるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。



4年生 校外学習（山形市）

8月28日（金）に、4年生は山形市へ校外学習に行きました。山形県庁、山形県警察本部、山形産業科学館を見学しました。

実際の施設を見学したり、働く方の話を聞いた中で、教室では得られない発見や気づきがありました。友達と声を掛け合いながら、充実した学びの一日となりました。

全国学力・学習状況調査の結果から

4月、6年生を対象に行われた調査の結果についてお知らせします。この調査は、子どもたちの学習や生活の状況を把握し、今後の教育活動をよりよくするためのものです。

学習の様子

国語・算数ともに、全国・山形県の平均と比べ、まだ十分に力が定着しきれていない部分が見られました。特に算数では、小数や分数、四捨五入など、学習の土台となる内容の定着が課題です。一方、カードを並び替えて大きな数をつくる問題や立方体の体積を求める式など、解き方のパターンが決まっている領域では、全国平均を上回りました。

子どもたちのよさ

今回の調査では、学校生活や授業についての意識も尋ねています。「自分と違う意見について考えることが楽しい」と回答した割合が高く、全国平均を上回りました。友達と話し合うことで、自分の考えを深めたり、新しい考えに気づいたりできると感じている子どもも多くいます。友達の考えを大切にし、関わりながら学ぶ姿勢は、本校の大きな強みです。

これからの学びに

本校には「学び合う土台」があることが、今回の調査からも改めてわかりました。その強みを生かし、授業では以下のことに力を入れていきます。

- ◎ 自分の考えをもつ
- ◎ 友達の考えを聞き、自分の考えと比べる
- ◎ 「なるほど」「どうしてだろう」と考える
- ◎ 学んだことを振り返り、次の学習につなげる



特に「話し合って終わり」にせず、話し合いをもとに考えを深め、「書く・表現する」活動までつなげます。子どもたちが主体的に関わり、自ら解決に向かえるような学びの仕掛けを工夫するとともに、答えを出すだけでなく、「なぜそうなるのか」を説明し合う時間、文章をじっくり読み解く時間を大切に、自ら考える力を学校全体で確実に育ててまいります。今回の結果を、子どもたちの「分かった」「できた」「もっと考えてみたい」につなげる手がかりとし、子どもたちのよさを大切にしながら、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに努めてまいります。